この瞬間を笑顔に！みんなで支えて叶えたい

横浜こどもホスピスプロジェクト

Vol. 7
Jul 2021

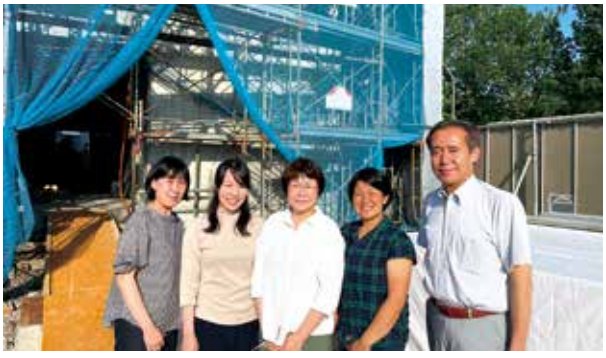
横浜こどもホスピス～うみとそらのおうちは、まもなく竣工します

認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト 代表理事　**田川 尚登**

皆様いつもご支援ありがとうございます。

4 月 1 日より「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」のオープニングスタッフ 6 名で開設準備活動に入りました。施設は本年 1 月 18 日に地鎮祭を執り行い、建設工事が始まりました。11 月の完成を目指しています。約 220 坪の市有地（横浜市金沢区六浦東 1 丁目 49）に建坪約 150 坪の 2 階建ての建物を建設しています。道路を隔て野島公園、関東学院大学のキャンパスがある侍従川の河口に位置し、歌川広重が描いた浮世絵、金沢八景のひとつ「野島夕照（のじまのせきしょう）」に近い場所になります。歌川広重が金沢八景を描いたのは江戸時代後期の天保年間の頃とされます。海、山、島、木々、舟、人などが織りなす四季折々の八景を、精緻な筆致で情感豊かに描き、末代まで続く金沢八景のイメージを創りだしました。しかし近年は埋め立てもあり、江戸の頃とは随分と風景は変わりましたが、所々にまだ当時の面影が残っているような場所です。

世界のこどもホスピスの特性として、①「地域主導の理念…地域に根差した自発的な活動」②「施設の理念…病院ではなく、家である」③「サービスの理念…友として寄り添う」④「事業の理念…制度に依拠しない独立した施設、財源を寄付に頼った慈善事業」の 4 つがあります。この特性を生かした小児緩和ケア（こどもホスピスケア）をこの地で実践していく所存です。



建設現場で新しいスタッフと一緒に

まずは金沢区民の方にどのような施設で、どの様な方が利用し、どの様なサービスを提供する施設なのかを理解していただくために、竣工後は施設を開放し見学していただきます。また、地域の子ども達にも理解していただくため「こどもホスピスってなあに？」というブックレットを作りましたので、配布していきたいと思います。

少しずつではありますが、こどもホスピス活動も知名度が増しているように思います。東京都昭島市に続き長野県や福井県でもプロジェクトが立ち上がりました。それに伴いマスコミでも取り上げられることが多くなってきました。しかし、教育・福祉・医療の狭間にある子どもと家族の在宅支援施設こどもホスピスに対する国の窓口はまだありません。そのような中、休眠預金活用事業として、こどもホスピス支援事業が採択されました。横浜こどもホスピスプロジェクトも実行団体として選定され、資金分配団体である公益財団法人原田積善会より助成を受けることが決定いたしました。また国の方でも「こども庁」の創設の動きがあります。いずれ予算が付くようになり、各地のこどもホスピス設立活動の弾みになっていくことを願っています。

2014 年 8 月から始まったこどもホスピス設立準備活動が実現します。約 2500 人の支援者の思いが込められた施設がようやく竣工することになりました。改めまして多くの支援者の皆様に感謝申し上げます。

工事進捗報告（2021 年 5 月 31 日時点）

1月

2021 年 1 月 18 日に地鎮祭を執り行い、横浜こどもホスピス新築工事が着工しました。侍従川沿いの工事であるため、護岸に影響を与えないよう慎重に杭基礎工事を行いました。

4月

４月２日にはこのプロジェクトの目玉である「子どもと家族が一緒に入れるお風呂」の形状確認を、実際と同じ大きさのモックアップを作成し、横浜市立大学医学部看護学科の佐藤朝美先生のご指導のもと、医療関係者と私たちスタッフも入浴のさせ方をシミュレーションして形状、大きさを決定しました。

3月

３月には地中のコンクリート工事を終え、いよいよ地上に建物の形が表れてきました。

2月

仮囲いには、大洋建設主催の仮囲いデザインコンペで、関東学院大学の上田悠花さんのデザインが採用され、大学をはじめ地域の方々にも興味を持って頂いています。

Construction Progress Report (as of May 31)

Isao Tsushima,Okada Architect & Associates

On January 18, 2021, a ground-breaking ceremony (jichin-sai) was held, marking the start of the construction of Yokohama Children's Hospice. As the construction site lies along the Jiju River, the first step was to carefully carry out the pile foundation work so that the river revetment would not be affected.

The fence surrounding the construction site has an illustration designed by Ms. Yuka Ueda (Kanto Gakuin University), which was selected in the design competition organized by Taiyo Construction Company. This lovely picture is helping to attract the interest of the local people including the university students.

In March, the underground concrete foundation work was completed, and the shape of the building started to emerge.

On April 2, we checked the size/shape of the custom-made family bathtub. This bathtub, which allows the whole family to enjoy “tub time” together, is one of the highlights of the project. Thanks to the guidance of Associate Professor Tomomi Sato of Yokohama City University School of Medicine Nursing Course and some medical service providers, the project members were able use a full-scale mockup to simulate how we can safely support families and children with difficult conditions to bathe safely.

At the end of April, the concrete building frame of the first and second floors was completed. Then, wooden materials for the second floor were positioned. As of the end of May, the positioning of pillars and beams was completed on the second floor, and the total volume of the building became visible. From now, construction of a ridgepole and roof will be started, and the exterior and interior works will follow.

We are pleased with the progress and look forward to project completion.

5月

5月末の時点で２階の柱梁まで立ち上がり、全体のボリュームが把握できるようになりました。
この後、上棟、屋根工事に着手し、外装、内装の仕上げ工事に入っていきます。

6月

7月

4月

４月末には１階の躯体、２階の床までコンクリートが打ち上がりました。いよいよ２階の木造の建て込みです。

（岡田新一設計事務所　津嶋功）

うみとそらのおうちのロゴ紹介

ロゴを作っていただいた イラストレーター サタケシュンスケさんに聞きました。

横浜こどもホスピス
うみとそらのおうち

うみとそらのカラーイメージである青を基調に
手書き感を残したあたたかみのある雰囲気で仕上げたロゴデザイン。
スタッフの皆さん、こどもたちやそのご家族はもちろん、
広くたくさんの方に親しみを持ってもらえたらうれしいです。

イラストレーター サタケシュンスケ さん
広告制作会社勤務のグラフィックデザイナーを経て、2007 年にフリーランスのイラストレーターとして独立。
2021 年に法人化、株式会社ひととえ を設立。
主な仕事は広告、書籍等で使用するイラストレーションおよびキャラクターの制作。子育てや教育、ファミリー向けのタッチを得意とし、代表作に NHK おかあさんといっしょ「ガンバラッパ★ガンバル〜ン」や AGF マリーム パッケージ、ベネッセ こどもちゃれんじ「おしゃべりシュッポ」など活躍多数。

website　https://hitotoe.net/

2020年度の活動から

かながわボランタリー活動推進基金21協働事業負担金事業

第3回世界こどもホスピスフォーラムin Yokohama (2021.2.14)

今年はコロナの影響で昨年のように各国から来日していただくことは叶いませんでしたが、イギリス・ドイツ・大阪をライブ映像でつなぎ、各国のこどもホスピスで働く皆さんが横浜のステージに一堂に集まりました。

今回のテーマは、「喪失に寄り添うグリーフケア・ビリーブメントケア」。日本から淀川キリスト教病院とTSURUMIこどもホスピス、こどもホスピス先進国のイギリスとドイツの方々とともに、闘病中から旅立ちの後まで家族と共にある「こどもホスピス」でのグリーフケア・ビリーブメントケアの考え方・関わりについて考えました。

オンライン・会場含めて300名を超える方にご視聴いただきました。

生きていくために―第3回世界こどもホスピスフォーラムのあとに

昨年の第2回を振り返ると、新型コロナウイルス感染が広がり始めた頃で、今から思うと「奇跡」のように海外のホスピスからもお迎えして開催されたのでした。

感染の広がる今回は、オンラインを駆使し、国内外を結んだ開催となりましたが、これも振り返ると「奇跡」のように思われる手応えを感じられたのではないでしょうか？対面し対話することが困難な状況で、画面を通してのお顔と言葉が、まるで個人的に親しく語りかけられているように感じることが多々ありました。オンラインでの開催により、遠方で参加の難しい方にご参加いただけたこともあるでしょう。

今回グリーフケアがテーマとされましたが、テーマを通して語られることを聞いていると、こどもホスピスが目指し、先行する皆様が実現してこられた全体像が見えてくる感じがしました。こどもホスピスが目指し実現してきたのは、子どもと家族が生きることを支え、更にその後に家族が生きていくことを支えていくことにあることがよくわかりました。

ご企画・実現の皆様ありがとうございました。

東京慈恵会医科大学
脳神経外科学講座・教授
柳澤 隆昭

To live a life: Thoughts after the Third World Children's Hospice Forum

Takaaki Yanagisawa
Professor, Neurosurgery Division,
Jikei University School of Medicine

Looking back to the Second Forum held last year, just as Covid-19 was starting to spread, it seems like a miracle that we were able to welcome the guests from hospices abroad. This year, the forum was held in the middle of the Covid-19 outbreak, connecting people online both in the country and overseas. Again, looking back, the sense of mutual compassion created in this “virtual” forum seems like another miracle, and I don't think I am the only one feeling this way.

Meeting people in person is difficult today, but the faces and words delivered through the screen made me feel as if each speaker was talking directly to me. People who live far away and could not otherwise attend the forum must have benefitted from this online approach.

Bereavement care was the main theme of this forum. As I listened to the discussion, I began to see the overall picture of what the forerunners have achieved and what kind of children’ s hospice the successors are aiming to create. It is to support the children and families to “live” the moment, and to support the family members to “keep on living” afterwards. I would like to thank all the people concerned, who made this forum happen.

2020 年度の活動から

積水ハウスマッチングプログラム　こども基金　長期プロジェクト助成事業

第 3 回全国こどもホスピスサミット in 福岡 (2021.2.20)

第３回全国こどもホスピスサミットがNPO 法人福岡子どもホスピスプロジェクトとの共催で開催されました。福岡に参集することができませんでしたが、北海道から沖縄まで 150 名の方がオンラインで参加されました。

１部では豊島先生がNICU の現場から子どもと家族と医療者の物語を、家族としての体験から参加者に大切なメッセージを下さった内藤さん、病気をもつ子どもの声を副島先生が代弁して下さり、小児緩和ケアの意味を考えるひとときになりました。

２部では既設、新設、準備中の全国７施設のこどもホスピスの取組みが報告され、こどもホスピスについて考え、課題を共有することができました。

全国こどもホスピスサミットを終えて

息子のお話しをさせていただくに当たり、当時の写真を見て涙しながら準備の作業をしました。辛いけど懐かしい。楽しかったことも次々に甦りました。私たち遺族はたくさんの思い出を抱え生きています。そしてそこには私たちを支えてくださったたくさんの医療スタッフがいます。

子どもの命の終わりが近いと宣告された時から絶望の日々が始まりました。お家へ帰りたい､帰ったら元気になるかもしれない。でも急変したらどうしよう…。だから病院にいるしかないのだと心はあきらめていきました。

あの頃　希望と安心の両方を満たす場所があったら、迷わず救いを求めていたと思います。
それは家族が安らげるハウス、誰かが見守ってくれるホスピスにほかなりません。

それぞれの機能が一つになり、子どもと家族が笑って過ごせる大きなおうちができることを　心から願っています。　全国の仲間と手を携えて。

親の会すまいる代表
内藤 真澄

Reflecting on the Children’ s Hospice Summit

Masumi Naito
Representative, Parents’ Group “Smile”

I was given the opportunity to talk about my son at the Children’ s Hospice Summit in Fukuoka. I shed many tears as I flicked through the photo albums of previous times to prepare my speech. Talking about him is still difficult as it brings back so many memories: good ones and sad ones. Bereaved families like us must live with our memories, but there are many medical personnel who are always ready to support us.

When we were told that the end of our son's life was approaching, that was the start of the days of despair. "My son wants to go home. He might feel better at home. But what happens, if his condition suddenly changes?" Thoughts spun around in my head and I finally gave in to the thought that staying in the hospital might be the only possible option.

If there was a place that would fulfill our craving for both hope and comfort, we would have come and asked for help without hesitation. A house where families can relax. A hospice where children and families living with life-threatening conditions could be looked after with compassion.

I sincerely hope that one day that would become a reality. One big home with two functions, in which we see children and families smiling happily. We can make that happen together, hand in hand with our partners from all over the country.

かながわボランタリー活動推進基金21協働事業負担金事業

第１回こどもホスピスフェスティバル（2021.4.29）

♪４月28日『４２８＝よつば』は、「日本こどもホスピスの日」♪
４月29日（祝）に、日本こどもホスピスの日を全国の皆様と一緒に盛り上げようと、家族みんなで楽しめる歌と音楽のイベント『こどもホスピスフェスティバル』を開催しました。
大和田美帆さんによる歌と手遊びに、ドクター達によるジャグリングパフォーマンス、そして、スペシャルピアノコンサートとして斎藤守也さん（from レ・フレール）の素敵なピアノ演奏と盛りだくさんの内容！ご自宅で、入院先で頑張っている子どもたち、きょうだいさん、ご家族…そして全国の皆さんと一緒に歌と音楽で楽しめる時間を共有でき、とても楽しいフェスティバルになりました！

第１回こどもホスピスフェスティバル、本当に楽しかったです！大和田美帆さん、斎藤守也 さんのコンサートは親子で大興奮。先生たちのジャグリングも衝撃でした！親子で笑って、歌って、踊って、優しい雰囲気に包まれた時間でした。まるで「うみとそらのおうち」にみんなが集って笑いあっているような気持ちになりました。
以下は参加した子どもたちの感想です。

- 「幸せなら手をたたこう」でみんなで踊れて楽しかった。
- 美帆さんに会えてうれしかった。
- パプリカのピアノが楽しかった。
- ピアノも素敵な音色でとても聞きほれました。
- ジャグリングの先生たちが、かっこよかった。
- ジャグリングとけん玉がすごい技で目が離せなくなりました。
- ホスピスのブランコに乗りたい（TSURUMIホスピスのことだと思います）。

コロナの中いろいろな我慢や制約で疲れている心を癒してくれた素敵な休日となりました。ありがとうございました。

みんなのレモネードの会
榮島 佳子

The first Children's Hospice Festival was so much fun! My husband and I took both our sons, and we were all very excited about Ms. Miho Ohwada and Mr. Moriya Saito' s concerts. The doctors' juggling performance was mind-blowing. We laughed, sang, and danced. We had a good time in a relaxed atmosphere. It felt as if we were at the children' s hospice “Umi to Sora no Ouchi” (A Home of Sea and Sky), sharing fun and laughter together.

Here are some of the comments from the children of our support group who participated in the event:

- I enjoyed singing and dancing to "If You're Happy and You Know It" with everyone.
- I was happy to see Miho.
- "Paprika" played on the piano was fun.
- The sound of the piano was beautiful and mesmerizing.
- The juggling doctors were cool.
- The juggling and kendama (a traditional Japanese skill toy) techniques were amazing. I couldn't take my eyes off the stage.
- I want to play on the swing at the hospice (presumably about Tsurumi Children' s Hospice).

Because of Covid-19 pandemic, we are all becoming tired of being patient and restricted. But that day became a wonderful break, and I could feel my heart soar throughout this festive event. Thank you very much!

Keiko Eishima
Lemonade Stand for
Pediatric Cancer Support Group

「希望としあわせをシェアしよう♪」キャンペーン！！

今年も、４月28日～５月５日の「日本こどもホスピス・ウイーク」に病気とともに生きる子どもとそのご家族を応援しようと、【希望としあわせをシェアしよう♪】キャンペーンを開催！たくさんの方々にご参加いただき、「虹」や「四つ葉のクローバー」の作品が届きましたので、ご紹介させていただきます。

2021 年度の活動から
積水ハウスマッチングプログラム こども基金 長期プロジェクト助成事業

こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム (2021.5.15-16)

「小児緩和ケア～生命を脅かす病気や状況にある子どもと家族のケア～を一緒に考えませんか？」

今回は、オンラインのみでの開催となりましたが、全国からたくさんの方にご参加いただきました。講義の中で短い時間ですが、参加者の方のご意見も伺うこともでき、大変有意義な時間となりました。

こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム online に参加して

先生方のご講演を聞きながら、子どもは亡くなるその瞬間まで心理・社会的に発達していると、小児がんの娘さんとの 10 年間の闘病から、そのご家族が看護職を目指す学生にくださったメッセージ「身体には病気があっても心は健康なんです」を思い起こしていました。死を免れることができない、医療的ケアを必要としている、入院している・・どのような状況にあっても、その年代の子どもが体験することを保障できたらと思います。コロナ禍で子どもの日常が奪われやすいからこそ、遊びたい、学校に行きたい、友達と話したい、家族と会いたい・・その願いを叶えることの重要性は増していると感じています。

プログラムには、専門職として、人として・・の根幹に触れる部分も多く、普段関わっている学生達に、拡げられたらという思いは、「うみとそらのおうち」のご近所として、横浜こどもホスピスプロジェクトが目指すケアのお手伝いができたら・・に繋がっていました。学生達と、その日を楽しみにしたいと思います。

関東学院大学看護学部
永田 真弓

Reflections after Participating in the Children's Hospice Pediatric Palliative Care Human Resource Development Program Online

Mayumi Nagata
Kanto Gakuin University,
College of Nursing, Department of Nursing

I listened to the doctors' lectures and reflected on a message that was given to student nurses from the patient's family in which the daughter fought pediatric cancer for 10 years. The family said that patients are physically ill but mentally healthy, explaining that children develop psychologically and socially until the moment of their death.

There are children who cannot escape from death, need medical care, or are in the hospital. Whatever the circumstances, I hope we could ensure they experience what other children of their age do. The Covid-19 pandemic can take away many things from the everyday lives of children. That is why it has become more important to make the children's wishes, such as going to school, talking with their friends, and meeting with their families, come true.

The programs were based on presentations from not just medical experts but also from a human perspective, which is an outlook I want student nurses to feel as the core of nursing. As a neighbor of the Umi To Sora No Ouchi hospice, I hope I can contribute to realizing the care that Yokohama Children's Hospice Project aims to provide.

My students and I look forward to that coming day.

2020 年度の活動から

サンタクロース訪問事業（2020.12.25）

毎年、クリスマスには横浜市立大学附属病院小児科にプレゼントをいっぱい抱えたサンタクロースが訪問しています。

残念ながら今年は新型コロナ感染症の影響で病棟に入ることができずプレゼントのお届けのみとなりましたが、小さなお子さんから大学生までの計 34 人にお渡しすることが出来ました。コスチュームを着たドクター、ナース、チャイルドライフスペシャリストも楽しそうです！ご協力いただきありがとうございました。

2020 年度の活動から

独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

多職種連携勉強会 (2021.2.27)

小児在宅医療の目的は、どんな重い障がいや病気のある子どもも一人の「人」として大切にされ、家族の絆、地域のつながりの下で、それぞれがもって生まれた「いのち」の可能性をできる限り発揮して、生ききることができる社会をつくること。

今回は、横浜市立大学附属病院の家族支援専門看護師・森川真理さんとあおぞら診療所で小児終末期在宅医療に取り組んでおられる大隅朋生先生にお話いただきました。

看護師、医師と立場は違いますが、子どもを想う気持ちは同じ。そこにご家族や地域の方々が機能的に連携していく仕組みが大切です。病院と自宅の間の存在となる「こどもホスピス」。今後、しっかり地域に根付いていくために、さまざまな方々と連携を取っていきたいと思います。

2020 年度の活動から

かながわボランタリー活動推進基金 21 協働事業負担金事業

病児と遊びの研究会 (2021.3.13)

「オンライン・おもちゃの広場」を実践されているおもちゃコンサルタントのお二人が、zoom を使ってオンラインでの遊びを披露してくださいました。

オンラインでの遊び支援は、コロナ禍となったここ 1 年で急速に進化してきました。病気や障がいがあっても、子どもたちは遊びたい！命と向き合う子どもと家族にとっての遊びの持つ意味を考えるとともに、with コロナ時代の遊び支援の形を学びました。

新スタッフ紹介

（左から伊藤、児玉、津村、本多）

昨年の夏からプロジェクトに参加しています。看護師になり 40 年以上が経ちました。看護師としての原点は、小児専門病院でのこどもたちとご家族との出会いです。こどもたちの笑顔やご家族に、たくさんの勇気をもらいながら看護師として働くことができました。涙の時も笑顔の時も、ご家族と一緒にほっとできる居場所『横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち』を目指してみんなで頑張ります！　（看護師　伊藤清子）

がん看護専門看護師として、地域の中核病院やがん専門病院で働いていました。これまでの看護実践では、「今日があってよかった」と思えるような日々を積み重ねてもらうことを大事にしてきました。『横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち』で出会うお子さんやご家族にも、スタッフや地域のみなさまと協力しながら、「今日があってよかった」と思ってもらえるような豊かな体験や時間を提供できるようなかかわりをしたいと思っています。　（看護師　津村明美）

私は、病気のお子さんとご家族の力になることができたらという思いで、これまでは小児専門病院や大学病院で働いてきました。病院では難しいこと、おうちでは心配なこともこどもホスピスなら叶えられるかもしれない。そして何よりも「友として寄り添う」という姿勢に惹かれました。
『横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち』がお子さんとご家族の笑顔であふれ、地域に愛される場所となるよう全力で取り組んでいきます。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。　（保育士・HPS　児玉のどか）

私はこども病院での看護師経験を積んだあと、病気や障がいのあるこどもとご家族、心に傷を負ってしまったこどもとご家族などと外でおもいっきり遊んだり、のんびり過ごしたりする野外活動やキャンプの企画運営をしていました。 4 月から新しい仲間たちと、そしてこれから出会うたくさんの仲間たちと一緒にこどもとご家族の笑顔のために、そしてほっと安心できる第２のお家になれるよう頑張っていきたいと思います！『横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち』でみなさんにお会いできる日を楽しみにしています。　（事務局兼看護師　本多貴子）

2020 年度事業報告書（2020/4/1 ～ 2021/3/31）

①小児緩和ケアに関する実態調査や啓発及び普及活動
（支出額：7,450,658 円）

ア　こどもホスピス啓発イベント
内容：こどものいのちの講演会とコンサートの開催を中止し、こどもホスピスのキャンペーン活動に変更。絵葉書を作成し入選者にプレゼント
日程：2020 年 4 月 28 日～ 5 月 5 日

イ　第３回世界こどもホスピスフォーラム
日程：2021 年 2 月 14 日
場所：はまぎんホール・ヴィアマーレ
人数：20 人（従事者）330 人（参加者）

ウ　第３回全国こどもホスピスサミット（福岡子どもホスピスプロジェクトと共催）
日程：2021 年 2 月 20 日
場所：福岡市　会議室
人数：10 人（従事者）164 人（参加者）

エ　こどもホスピス普及活動
内容：小児病棟へのサンタクロース訪問中止。プレゼントのみ郵送
日程：2020 年 12 月 24 日
場所：横浜市立大学附属病院小児科
人数：3 人（従事者）30 人（対象者）

②小児緩和ケアに関する人材の育成に関する事業
（支出額：6,664,195 円）

ア　小児緩和ケアに関する研修会（『病児と遊びの研究会』）
内容：小児緩和ケアに関する疾病別のこどもを持つ親の講演と病気や障がいがあるこどもとの遊び方の研修など
日程：2020 年 11 月 14 日、11 月 21 日、2021 年 3 月 13 日、8 月のワークショップは中止。
場所：横浜市内会議室
人数：講師 2 人（x3 回）、職員 2 人、ボランティアスタッフ 5 人／参加者 101 人

イ　こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラムの構築
内容：小児緩和ケアを体系的に学ぶカリキュラムを開発し、研修を行う。
日程：2020 年 6 月 20 日（横浜）、9 月 20 日（横浜）、10 月 11 日（旭川）、11 月 29 日（名古屋）
人数：講師 7 人、職員 2 人、ボランティアスタッフ 50 人／参加者 205 人

ウ　小児緩和ケアを体系的に学ぶ人材育成教本づくり
場所：横浜市内、名古屋市内の会議室
人数：講師 7 人、職員 2 人
対象：こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム参加者に配布予定。

エ　多職種連携勉強会
内容：講師に病院の小児在宅移行現場でかかわっている横浜市立大学附属病院の在宅支援窓口の看護師と在宅医療で病児を診察しているあおぞら診療所の医師に多職種の連携の必要性や実際の現場の状況などをお話しいただいた。
日程：2021 年 2 月 27 日
人数：講師 2 人、職員 2 人、ボランティアスタッフ 3 人／参加者 68 人

③その他の事業（支出額：76,066,157 円）

ア　こどもホスピス建設工事

イ　認定 NPO 法人スマイルオブキッズから小児ホスピス特定資産譲渡

2021 年度事業予定

かながわボランタリー活動推進基金 21 協働事業負担金事業・積水ハウスマッチングプログラム助成金・休眠預金活動事業（JANPIA）他

（1）特定非営利活動に係る事業

① 生命を脅かす病気の子どもと家族の療養生活支援施設の整備運営事業

●横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち建設及び式典
内容：こどもホスピス建設・式典開催
日程：令和 3 年 7 月上棟式・11 月落成式典予定
場所：横浜市金沢区六浦東 1 丁目 49 番 5 号

●横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち整備運営
内容：施設開設研修・運営（ホスピスケア提供）
日程：令和 3 年 10 月竣工予定・12 月から施設運営予定

●ワークショップ開催
内容：環境作りワークショップ（庭・内装）
日程：年度内 2 回開催予定

●相談事業
内容：家族からの相談（医療的・心理的）
日程：令和 3 年 11 月～令和 4 年 3 月

②小児緩和ケアに関する実態調査・啓発普及活動事業

●こどもホスピス啓発イベント
内容：こどもホスピスフェスティバル（コンサートの開催）、第 4 回全国こどもホスピスサミット（協力）
日程：令和 3 年 4 月 29 日・令和 4 年 2 月 11 日

●広報活動戦略の強化
内容：広報ツール（冊子・動画）の作成

●地域診断
内容：地域の現状を把握するための調査・分析、ヒアリング
場所：医療機関・教育機関・行政他

●教育機関における普及活動
内容：小中学校におけるいのちの授業の開催等
場所：横浜市金沢区内小・中学校

●プレオープンセミナーの開催
内容：施設内覧を兼ねたミニセミナー
日程：竣工から開所までの期間　週 1 回の開催

●地域交流 Day の開催
内容：地域住民に向けたイベント・交流会
日程：開所後月 1 回の開催

③ 小児緩和ケアに関する人材の育成に関する事業

●病児と遊びの研究会
内容：病気や障がいがある子どもとの遊び方の研修等
日程：年度内 3 回（令和 3 年 7 月 3 日、12 月、2 月未定）

●こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム
内容：小児緩和ケアを体系的に学ぶ
日程：令和 3 年 5 月 15 日～ 16 日（横浜）
以降年度内 2 回開催予定

●小児緩和ケアネットワーク会議
内容：生命を脅かす病気の子どもや家族が直面する課題解決のための勉強会
日程：年度内 4 回開催予定

●小児緩和ケア共同研修会
日程：通年
場所：TSURUMI こどもホスピス他
対象：こどもホスピススタッフ

ご寄付一覧

（順不同・敬称略）（2020 年 12 月～ 2021 年 5 月末）

ご支援、ありがとうございました

【会費・寄付によるご支援者】

Bravissimo 美容室ブラヴィッシモ／Katz Anna ／ NPO 法人　Umi のいえ／岩瀬 且敏・まり子／ウエノクリーニング株式会社／おかうら たまみ／オガワ セイコ／オリーブ在宅クリニック／キワダ　リョウコ／クルス ミチヤ／コガ ケイコ／サルマン株式会社／タカダ マサミ／たわわや／ツチヤデンキ／ニーリー 美穂／ビィーンズファーム／フライスター株式会社／ベーカリーハウス アオキ／ホンジョウ ケイコ／モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社／ヨコノ シュンジ／リョーコーホーム株式会社／ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社／阿部 佳代／阿部 啓子／安井 渚／安達 かほる／安達 伊由／安達 恵子／安池 亜矢子／安藤 陽子／安部 真由香／伊藤 久美／伊藤 修一／伊藤 瑞枝／伊藤 美智子／伊藤 文子／伊藤 麻衣／伊藤 理人／医療法人社団　松井病院／井上 啓子／井上 健治／井上 秀枝／井上 富士子／井上 玲子／一般財団法人　戸沢暢美財団／稲垣 秀人／茨木 良枝／右松 晶子／浦川 富二子／永井 薫／越 純一郎／越後谷 直子／園田 誠一／園部 かおる／遠山 美代子／遠藤 郁子／遠藤 恭子／塩島 えり子／奥 志歩／奥山 宏昭／奥村 美由／横山 新一郎／横須賀 千賀子／横田 碩子／横田 友紀／横畠 恵子／横尾 英子／横浜ビル建材株式会社／横浜振興株式会社／岡山 幸弘／岡本 秀也／沖祥子／沖野 和正／下道 知世乃／加藤 郁代／加藤 久美子／加藤 里紗／嘉祥寺 泰明／嘉本 奈緒美／河岸 芳人／河合 智矢／河村 ふゆき／河並 理美／河野 このみ／我妻 慶祐／海津 未希子／柿崎 小百合／角田 宏子／学校法人　桜ヶ丘学園桜ヶ丘幼稚園／梶野 道子／神奈川県遊技場協同組合／神奈川福祉事業協会／椛澤 由博／株式会社イーコア／株式会社ニックス／株式会社みつやま／株式会社横浜銀行／株式会社　丸産技研／株式会社　柴橋商会／株式会社第一保険センター／株式会社仲亀／株式会社　不二家／株式会社豊商会／株式会社アプリシエイター／株式会社クリエイトエス・ディー／株式会社ソシオコーポレーション／株式会社ツクイホールディングス／株式会社ミールイノベーション／萱畑 佳代子／関 卓子／関屋 里美／関内イノベーションイニシアティブ株式会社／岸川 陽子／岩舘 里枝／岩田 真幸／岩田 直子／岩本 烈子／鬼嶋 雄三／亀井 めぐみ／亀井 ゆかり／亀井洋子／菊地 真砂美／吉岡 恵実／吉村 規男／吉村 充雄／吉田 敬子／吉田 健太／吉田 賢一・聡／吉田 孝子／吉田史子／吉田 道雄／吉田 有里／久光製薬株式会社／久世 准生／久保田 龍士・綾／久保田 佳織／宮原 契子／宮川菜摘／境木地蔵堂／橋本 裕一／玉﨑 麻利江／近藤 紀子／金井 玲子／熊谷 真由子／熊谷 明子／粂 みち代／栗原慎子／栗本 典子／桂川 理恵子／月足 新／原 純一／原 優子／原田 浩史／原田 香奈／原田 梢／原田 芙有子／原田 峰明／原田 悠平／原田 由美子／原嶋 豊／原野 恵里香／古屋 眞菜／古田 真弘／古平 秀子／戸田 章子／呉 佳穎／後藤 智子／光田 美津子／光澤 一郎／工藤建設株式会社／幸村 千草／弘永 元／江口 るみ子／溝呂木 亜矢子／甲斐 康子／甲斐 明子／綱島 健之／行松 泰弘／高岸 典子／高橋 ソノ／高橋 香／高橋 美幸／高山 美穂／高瀬修司／高倉 由紀子／高木 かよ子／高木 久哉／高木 伸幸／高柳 礼子／高林 奈津子／黒田 勝治／黒田 節代／黒澤 健司／黒澤 宗剛／黒澤 富士鷹／今井 里佳／今村 恭也／今村 和夫／根石 京子／紺野 昌代／佐々木 ゆみこ／佐々木 延江／佐々木 泰明／佐々木 直子／佐藤 とく／佐藤 一穂／佐藤 敬子／佐藤 晃司／佐藤 佐栄子／佐藤 秀臣／佐藤 晴美／佐藤 千鶴子／佐藤 奈穂美／佐藤 麻衣子／斎藤 なほみ／斎藤 義彦／菜花 宏子／坂井 純子／坂本 良子／崎田 年一／鮫島 芙美／三晃商事株式会社／三崎 洋輔／三上 葉子／三石 尚武／三村 真知子／三澤 綾乃／山下 恵子／山下 見知子／山口 みどり／山口 ゆかり／山口 次朗／山口 智美／山崎 あけみ／山崎 克美／山

川 ひろみ／山谷 和明／山中 清／山田 味子／山田 洋子／山内 哲夫／山内 明子／山本 千晴／山野 郁子／山縣 久美子／山﨑 麻朱／四方 健彦／市原 早苗／市川 雅恵／市川 能里／市村 亜衣／志村 朱美／志澤 直樹／児玉 ひとみ／児玉 洋子／寺村 昌子／持田 加容子／鹿嶋 美由紀／篠田 潤／若村 みさき／若村 舞／若林 近男／手しごとサポート／手塚 悦子／酒井 佳世／酒井 昌子／宗藤 純子／宗藤 真司／秀島 勇治／舟木 幸子／重井 朗呉／勝山 のぞみ／小笠原 早苗／小久保 幸子／小橋 和彦／小原 聖子／小山 桂子／小篠 史郎／小出 明美／小瀬村 芳明／小野 佳子／小野 淑子／小林 猛・千賀子／小濱 智代子／松岡 郁子／松岡 弘／松村 都志治／松田 温子／松田 正／松島 恵利子／松尾 智子／松尾 裕美／松本 もなみ／松本 恵里／松本 美千代／松本 優梨／沼沢 静江／沼田 利夫／照井 林陽／上家 洋美／上原 章江／上田 哲央／上島 可奈子／上野 裕大／植田 容賦子／新実 絹代／新宅 美樹／森 みどり／森 由美子／森岡 美知子／森田 亜紀／森田 知子／森島 まみ／深澤 ゆかり／真壁 浩子／神崎 絢子／神崎 恵理子／神野 潤／人見 敦子／水口 幸治／水野 雄太／杉原 佳子／杉山 真紀／杉山 真奈美／杉本 のり子／杉本 郁子／杉本 匡敏／杉本 千晴／杉野 信一郎／菅宮 泰代／菅沼 明日美／瀬戸 識／瀬藤 嘉乃／瀬尾 公子／成瀬 祐子／成田 英次／成田 麻衣子／星 江里子／清水 めぐみ／清沢 康夫／生方 菜緒里／西 志野／西松 京子／西川 英里／西村 博子／西谷地区社会福祉協議会／西田 紀子／西田 薫／西本 美貴子／西木 小百合／青山 恭子／青山 治子／青木 千絵／青柳 充彦／斉藤 昇／石井 志穂／石井 理子／石橋 佳代子／石川 基子／石川 容子／石村 りょうこ／石塚 愛／石塚 真紀子／石塚 節子／石田 由紀子／川股 美都里／川口 記代美／川口 詩織／川合 聖子／川崎 ゆう子／川田 千代子／川島 由衣／川島 陽子／川本 晴美／泉川 達也／浅木 紗綾子／船越 祥子／前原 恵美子／前川 幸／前川 真由美／前田 真理子／前之園 由紀子／曽我 紘一／倉林 実／倉澤 八千代／相沢訪問看護ステーション株式会社 相沢訪問看護ステーション／相模翠ヶ丘幼稚園父母の会／相澤 美帆／草場 春美／則武 直美／足立 寿子／村 奈都子／村上 杏菜／太田 里美／台 紀恵／大塩 豊／大橋 恵／大隅 朋生／大軒 恵美子／大原 玄／大崎 逸朗／大山 直香／大石 敬子／大村 典子／大藤 佳子／大平 美保子／大野 克己／大洋建設株式会社／谷 紫寿／谷 征夫／谷口 洋子／谷津田 全子／谷畑 育子／池田 幸代／池田 耕介／池田 将人／池田 仁子／池田 龍子／池部 恒司／竹ノ谷 真実子／竹村 律夫／竹内 美弥子／竹之内 直子／中山 香／中山 陽子／中村 真紀／中村 洋子／中尾 和子／中浜 歩美／中満 麻子／中澤 秀夫／仲村 慶一／猪飼 真理子／町田 美穂／長谷川 さおり／長谷川 みどり／長谷川 剛志／長谷川 洋子／長嶋 健志／鳥澤 竹彦／陳 采蘋／津田 敏夫／津嶋 功／津野 晶子／塚越 美和子／塚原 亜実／辻野 智美／坪内 節子／田岡 恵美子／田口 叔江／田上 尚志／田川 剛／田川 正志／田村 まどか／田村 泰治／田代鋼材　株式会社／田中 希枝／田中 治美／田中 順子／田中 真能／田中 牧子／田中 友加／田中 有雅／田中 有由美／田島 玄太郎／田嶋 容子／田辺 健一／渡瀬 美登里／渡部 知佳子／渡辺 朝子／渡辺 由美／土岐 和正／土谷 みち子／土谷 勇雄／島 ひとみ／島田 浩和／嶋貫 博子／嶋田 まゆみ／嶋田 年比于／東田 すみこ／東條 富美子／藤原 嵩大／藤田 ゆう子／藤田 寿枝／藤乃巻 龍之心／藤本 義行／藤本 志のぶ／藤本 旬子／道信 祐三子／徳丸 由利子／内山 博嗣／内田 英恵／内田 紀子／内田 康之／内藤 真澄／鍋島 聖子／日浦 美智江／日本基督教団　田浦教会／梅崎 亜衣子／梅田 比奈子／萩田 ひろみ／柏原 美之／柏木 聖代／白井 素子／白鳥 由紀子／白澤 薫／八景写真館／八幡 多美／半田 みどり／繁田 芽乃亜／飯山 さちえ／飯山 泰子／飯村 春樹／飯田 展久／樋口 喜邦／樋口 敬子／尾田 政彦／蛭田 りつ子／浜野 えみま／富原 宗祐／富山 廣子／武舎 澄江／武川 幸子／武田 久美子／福田 恵利／福田 靖／福留 光琉／平 真紀／平原 亮太／平出 朋代／平田 隆子／平野 ひかる／平野 尚美／米原 あゆみ／米山 勝子／米内山 茜／片 泉／片倉 弥生／片野 待子／保持 のり子／豊山 峰広／豊田 千早／北崎 清美／北村 憲雄／北村 真由美／堀 悠木／堀元 真生／堀内 克子／本間 りえ／本間 真彦／本多 久／本多 知子／本多 八重子／本多 明美／麻田 真衣／末吉 景子／末松 敬介／満岡 利夫／椋棒 弘子／茂澤 忍／毛利 環／木下 るり／木下 嘉昭／木下 未果子／木村 輝雄／木村 彰／木村 晶子／木村 瑞紀／木本 桃子／門倉工業　株式会社／野口 由美子／野崎 信子／野瀬 美砂子／野村 夏子／野澤 聡／矢吹 歩美／矢田 俊量／矢武 一人／矢野 順子／柳井 えりか／柳井 政司／柳田 美智保／柳澤 隆昭／有賀 実男／有限会社伊勢屋呉服店／有限会社湘南仲介センター／有限会社仁天堂薬局／有限会社ケイ・エイチ・スタッフ／有田 佐智／有田 直子／有馬 純律／輿石 且子／立石 由美／立野 敦子／陵光ゼミナール／林 ひろ子／林 広樹／林 純子／林 容子／鈴鹿 典子／鈴木 英樹／鈴木 公子／鈴木 幸子／鈴木 彩／鈴木 淳子／鈴木 小百合／鈴木 仁美／鈴木 智成／鈴木 和子／蓮見 俊夫／和栗 純子／和田 丈子／和田 都／和田 朋子／詫摩 真理子／櫻井 時子／櫻井 祥子／渕田 ルミ／濱野 一美／當間 智江／齋藤 睦美／筧 直樹／舩瀬 満裕佳／栁澤 京子／髙橋 房子／髙木 睦子／髙野 幸子

【イベント協賛】
株式会社ダッドウェイ／株式会社学研ステイフル／横浜金沢マリーンライオンズクラブ／アミエル税理士法人／株式会社ありあけ／ウチダエスコ株式会社／オリーブ在宅クリニック／有限会社オッターブルー／ホンダカーズ神奈川中株式会社／医療法人　横浜未来ヘルスケアシステム／株式会社コロナ／株式会社サカクラ／株式会社せんざん／株式会社ヒューマンリソースみらい／株式会社メモワール／株式会社ヨコレイ／株式会社　安藤建設／株式会社　横濱屋／株式会社　柴橋商会／株式会社　徳建／三晃商事株式会社／宗教法人　弘明寺／大洋建設株式会社／田辺三菱製薬株式会社
※協賛頂いたイベント：サンタ訪問・第 3 回世界こどもホスピスフォーラム・第 1 回こどもホスピスフェスティバル

【よこはま夢ファンド】
昨年 4 月分より寄付者様のお名前・金額などの公表をご希望されても寄付先団体には通知されなくなりました。お礼状をお送りすることができませんので、ご寄付の際に団体宛にもご一報いただけましたら幸甚に存じます。

【募金箱設置】
ベーカリーハウス　アオキ／スマイルガーデン／ Bravissimo　美容室ブラヴィッシモ／ビィーンズファーム／ヘアーサロン　タカキ／壮健堂治療室／山本助産院／花屋こはな／輿石且子事務所／角田宏子事務所／ Café Bar and Lunch Box SMILE(スマイル食堂) ／八景写真館／八木薬局／ BAR　LUZ ／たわわや／菓匠栗山／パブ　ドレミ／大和・綾瀬理容組合／境木地蔵尊

ウェブサイトリニューアルのお知らせ

4 月 28 日『日本こどもホスピスの日』にウェブサイトがリニューアルしました！私たちの理念「この瞬間を笑顔に！みんなで支えて叶えたい。」で始まるトップページ。是非一度ウェブサイトを訪れてみて下さい！
https://childrenshospice.yokohama

応援アンバサダーのご紹介

女優
おおわだ　み　ほ
大和田 美帆 さん

横浜こどもホスピス応援アンバサダーに就任いたしました。大和田美帆です。

役者の道を進んだ理由はただ一つ。お芝居を見た人に「生きるって楽しい！」って思って欲しかったからです。アンバサダーも同じです。こどもたちやご家族と「楽しい！」って思える時間を共有し、多くの方に横浜こどもホスピスのことを知って応援していただけるよう、活動していきたいと思います。よろしくお願い申し上げます！

活動計算書

（特定非営利活動に係る事業会計）

2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日

科目		合計（円）
Ⅰ．経常収益		
1．受取会費	4,626,000	
2．受取寄付金	291,455,933	
3．受取助成金等	12,734,000	
4．事業収益	336,820	
5．その他収益	2,468,320	
	経常収益計	**311,621,073**
Ⅱ．経常費用		
1．事業費	14,117,383	
2．管理費	10,806,840	
	経常費用計	**24,924,223**
Ⅲ．経常外収益		
	0	**0**
Ⅳ．経常外費用		
税引前当期正味財産増減額		286,696,850
法人税、住民税及び事業税		426,445
当期正味財産増減額		286,270,405
前期繰越正味財産額		55,599,891
次期繰越正味財産額		341,870,296

支援のおねがい

【寄付で支援する】
いつでも自由な金額でご寄付をいただいております。

【毎月の寄付（マンスリーサポーター）】 ※クレジットカード決済のみ
毎月定額のご寄付で継続的に支援する方法です。決済方法はクレジットカードのみです。毎月自動引き落としです。

【毎年の寄付（賛助会員年会費）】
会員として活動を継続的に見守り支えてくださる方を募集しています。

①個人：年会費　1 口 5,000 円から
②法人・団体：年会費　1 口 10,000 円から各種プランがございます。お気軽にお問い合わせください。

【振込先】※ご住所を必ず明記してください。追って領収書を送付させていただきます。

◎横浜銀行
支店名　本店営業部　普通預金口座番号　6173770
口座名義　特定非営利活動法人横浜こどもホスピスプロジェクト
◎ゆうちょ銀行
振替口座　００２６０－９－１０４５１８
口座名義　NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト

※　寄付金、マンスリーサポーター、賛助会員年会費は税額控除が受けられます。
※　遺贈の相談も承っております。

ウェブサイトリニューアルに伴い、
クレジットカード決済が可能になりました！
寄付フォーム　https://childrenshospice-yokohama.secure.force.com/

会報発行者：認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト
〒231－0003　神奈川県横浜市中区北仲通 3-33　関内フューチャーセンター 164
TEL：045-274-8686　FAX: 045-550-3459　e-mail: contact@ykh.jp（変更しました）　http://childrenshospice.yokohama/
編集制作：株式会社ユック舎